

# 風の子

ホームページ <http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/ogu/>



## 尾久幼稚園の強みとは

副園長 立石 晃子

### 教育目標

- 元気で明るい子
- よく考え、すすんで行動する子
- 思いやりのある子

私事ではありますが、11月6日から2週間、研修に出させていただきますました。2週間はあっという間でしたが、荒川に戻ってきた際には、木々の葉が落ち少なくなっていたり、晩秋の時期に咲く白い山茶花が見頃を迎えていたり、季節が確実に進んでいる様子がうかがえました。

この間、幼稚園に関わるすべての皆様にはご理解とご協力をいただいたことに大変感謝しております。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

全国各地から140名超の幼稚園・小学校・中学校の副校長・教頭等が集まり、多様な研修と研修形態を受講しました。その中の一つに、「学校の特色づくり」に関する講義・演習があり、SWOT分析という手法を用いて本園の外部・内部環境の強みや弱みは何かを考え、他道府県の方と交流・比較しました。そこで見出された本園の強みをお知らせします。

- ・徒歩登園を行っており、親子で会話や手をつなぎながら歩く時間ももてる。(自家用車やバス登園の場合は難しいようです。)
- ・併設小学校が近くにあり、思い切り体を動かして遊ぶことができる。
- ・少人数のため顔見知りの幼児・保護者の中で安心して過ごせる。
- ・保護者が温かく、幼稚園の教育活動を支えてくださる。
- ・近隣に幼稚園・保育園があり、交流をもちやすい。
- ・町会会館が園の前にあり、地域の方との交流がもちやすい。オリンピック・パラリンピック教育推進事業に関してもお手伝いいただいている。

以上のように、分析を行ったり、他道府県の様子を交流したりすることを通して、尾久幼稚園のよさを改めて感じることができました。今後も尾久幼稚園の強みを活かし、幼児、保護者、地域、教職員といった尾久幼稚園に関わる全ての方がその強みを実感し満足できる環境づくりに力を注いでいきます。

### <お知らせ>

- ・たんぽぽ組担任 佐野 直美 非常勤専任講師 は11月末をもって退職しました。
- ・12月1日より本園幼児教育補助員 河西 真理 が非常勤専任講師となり、たんぽぽ組担任に着任します。
- ・11月27日より 幼児教育補助員 高橋 香菜子 が着任しました。



## 12月のねらい

### 《3歳 たんぽぽ組》

- ・みんなと一緒に活動するなかで、自分なりに動く楽しさを感じる。
- ・冬の生活の仕方を知り、自分でしようとする。

### 《4歳 うさぎ組》

- ・遊びや生活の中で、クラスの友達とみんなで活動する楽しさを味わう。
- ・季節の変化に気付き、冬の季節に応じた生活の仕方や年末年始の過ごし方を知る。

### 《5歳 そら組》

- ・共通の目的に向かい、友達と力を合わせたり役割を意識したりしながら取り組み、達成感を味わう。
- ・ルールのある遊びを友達と思いや考えを出し合いながら、繰り返し楽しむ。

## やわらかな陽ざしの中で遊ぶ 風の子たち！

### <年少・たんぼ組>

お弁当のときに遠足ごっこをしながら、遠足に行くことを心待ちにしていたたんぼ組の子供たち。初めての遠足では友達とバスに乗って歌や手遊びをしたり、色々な生き物に触れ合ったり、どんぐりをポケットやレジ袋にいっぱいになるまで拾うことができ、とても楽しい思い出となりました。

空き箱製作が始まり、セロハンテープで組み合わせたりして、自由に製作することを楽しんでいる子供たち。「見て、見て！」と嬉しそうに作品を見せてくれます。また、どんぐりでマラカスを作ったり沢山秋の自然物に触れたりすることができました。

友達との関わりが増えてきて、友達を誘って一緒に遊んだりお弁当を食べながらお話ししたり、「おおかみさん今何時」などの遊びを楽しんでいる姿も見られます。教師も遊びに入って、友達と一緒に過ごすことを楽しめるように援助していきます。

### <年中・うさぎ組>

好きな遊びの中で、遊びに必要なものが出てくると、最近では、画用紙や空き箱などで本物らしい食べ物を作ったり、オリジナルのカバンを作ったりして、自分たちで作ったものを使って遊ぶことを楽しんでいます。どのように作ろうか考えたり、こういうものを作りたいんだと教師に伝えたり、友達に教えてもらいながら作ったりしている姿も見られます。

また、舎人公園遠足のときに、そら組さんに折り返しリレーを教えてもらった子供たち。園でもやりたい！と、自分たちでバトンをつくり、屋上や園庭で好きな遊びの時間に友達と一緒に遊び始めました。学級でも折り返しリレーをして遊ぶと、相手チームの友達に負けないように走ったり、同じチームの友達のことを応援したり、バトンを落とさないで次の友達に渡そうと意識したりしている姿が見られます。体を動かして遊ぶ楽しさを感じたり、“同じチーム”という仲間意識を感じたり友達と力を合わせて頑張ろうという気持ちをもったりしています。12月も、日々の生活や学級での遊びの中で、友達とのつながりを感じ、みんなと一緒に活動する楽しさを味わえるようにしていきます。

### <年長・そら組>

おいもパーティを通して秋の味覚に触れ、ベランダで育てている三河島菜にも「大きなあれ。早く食べたいな。」と声を掛けながら世話しているそら組の子供たちです。

寒さなんてなんのその、園庭で鬼ごっこをして一生懸命走り、友達と誘い合ってドッジボールをして、汗をかいている子もいました。

劇遊びへの取り組みでは、話の展開や劇遊びに必要な物、言葉や動きなどを友達と一緒に考えながら取り組んでいます。「ここをこうしようよ。」と互いの思いを言い話し合ったり、「私、これ作るね。」と分担したりと協力し合って進める姿があります。「これ、誰が作ったの？すごいね。」と互いの良さを認め合う姿も見られてきました。共通の目的に向かい、自分の役割を意識し、友達と一緒に取り組むことで、やり遂げた達成感や喜びを感じられるよう、認めたり励ましたりしていきます。

感染性胃腸炎やインフルエンザなどの感染症が広まる時期です。

- ・ うがい、手洗いの励行
- ・ バランスのとれた食事
- ・ 人混みを避ける
- ・ 十分な休養をとる

規則正しい生活を心がけ、疲労や睡眠不足に注意しましょう。

**お弁当を温めます** 12月1日(金)より温めると味が変わるようなものは、別にししましょう。

アルマイト製のものなど熱に強いお弁当箱にしてください。パッキンのものは子供の力ではあけづらくなります。

**幅広のゴムに名前**を書いて、お弁当箱にはめましょう。